

# 2020年度部門 じらふ障がい児通所支援 事業計画書

作成:高橋朋子

## 1. 収支(予算)

### 【予算収入と根拠】

契約利用者数 住吉44名、街道23名、住之江30名

※住吉には、リズムキリンやアソビバ・一部街道利用者も含まれます。

20年度の区分は、街道・住之江は区分2、住吉は区分1で確定した為、その区分で計算し、挙げています。

(住吉) 3, 380万円 (街道) 2, 190万円

(住之江) 2, 940万円 合計 **8, 510万円**

長期休暇はご利用が無い方や、私用病欠で休まれる方を想定 ⇒ -100万円程度

収入: **8, 410万円**

※区分該当や強度行動障害支援加算について、ご家族さんへの勉強会や加算申請の説明会等実施したり、相談支援事業所に依頼する等行ない、また、現場の職員配置を変更する等行なう事で、どの現場でも一人でも多く加算取得したり区分が付く様、働きかけに務めます。受給者証更新の時期を把握し、前月に家族へアプローチする事で、区分や加算の取り消しを防ぐ対策を行ないます。

### 【支出項目特記事項】

強度行動障害支援者養成研修(基礎) 5千円×1名程 ※加算の為

※街道じらふは、早期に引っ越しを希望。予算300万円まで(敷金・礼金工事費含む)

購入希望物品

iPad: 補償を付けて4万6千円×3台(3現場で1台ずつ)

※余暇活動に欠かせず、各現場2台ずつ使用してきたが、住之江と住吉は2台の内1台故障。街道は、もともと1台しか無かった為

机: 1万円、机と椅子(4セット)→3万円。利用児の身体に合わせた物が少なく、丸椅子で対応していたりした為、新たに購入希望

おもちゃ・ゲームソフトなど: 6千円~1万円×3現場

PECS コミュニケーションブック他物品: 1万円

パーテーション: 3~5枚×6500円程度×3現場・・・環境整備

照明器具ガード: 72000円(9台分)・・・住之江じらふで、蛍光灯が裸状態の為

他、壁修繕用ペンキ・フロアクッションマット・畳・荷物棚(ロッカー)等が、各現場から挙げられています。いずれも、中古商品を検討したり、寄付を募るなどし、それでも難しい場合に、購入を希望します。

## 2. 職員（育成・研修など）

住吉・住之江区放課後等デイ事業所等連絡会【すみすみ】や自立支援協議会研修での外部研修に参加出来る機会を多く持つ。デイ勉強会を今年度も実施し、パート・アルバイトへの参加率を上げる。日々の打ち合わせや振り返りを行ない、対応方法などの統一や、支援の質の向上、改善などを行なう。昨年度職員で学んだ PECS を現場で実践し、パート・アルバイトスタッフへ引き継いでいく。強度行動障害支援者研修（加算の為）や、サービス管理責任者等の研修（5年ごと）。

## 3. 事業内容（おもな企画）

長期休暇期間は、毎日企画を実施し、調理・外出・工作などに参加して社会経験を積んでもらえるようにする。昼食調理や防災訓練は、各デイで毎月実施。季節の企画で、ハロウィン・クリスマス・節分・バレンタインなどの企画を行ない、季節を感じられる体験を提供する。また、企画等の写真をSNSに挙げ、新規利用者やパート募集に繋げる。

### 年間事業計画（予定）

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4	春休み(デイ午前中から) メンバーさん新体制 4月 8日～	デイ会議 支援計画会議	すみすみ研修
5	ゴールデンウィーク開所(休日時間) 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・強度行動障害 支援者養成研修・すみすみ 研修
6	ママレモンズ&おやじの会 BBQ	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
7	夏休み(デイ午前中から)	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
8	夏休み(デイ午前中から) 夏デイ外出	デイ会議 (短縮で開催する)	
9・10	10月第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・児発管研修 すみすみ研修
11	おやじの会	デイ会議・支援計画会 議	デイ勉強会・すみすみ研 修
12	冬休み(デイ午前中から) サンタ企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
1	冬休み(デイ午前中から) 第5土曜日特別企画 ギャングスター企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
2	2021年度メンバーさん決定 卒業パーティー(高3対象)	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
3	春休み(デイ午前中から)	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修

## 2020年度 部門 大領 COCORO 児童発達支援 事業計画書

作成:室谷

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】年間：10,554,770

根拠：児童発達支援の利用者確保が課題。火曜4名、水曜4名、木曜4名、金曜3名、土曜3名で予算を計算。欠席を考慮して0.9をかけた数値。7,467,890  
2020年度より水曜と土曜に放課後等デイサービスの事業を開始。卒業生を対象としていて、水曜3名、土曜6名で予算を計算。欠席を考慮して0.9をかけた数値。3,086,880

児童発達支援の新規利用者確保に向けて、保健福祉センターや子育て支援センターとの繋がりを作っていく。

【支出項目特記事項】

大領 COCORO2 階の Wi-Fi 設置：99,000（機材 23,000＋工事費 67,000＋消費税）

### 2. 職員（育成・研修など）

利用者支援に繋がる研修や保護者支援に繋がる研修を随時

### 3. 事業内容（おもな企画）

#### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4月	2020年度体制スタート	12月	年末休み
7月	2019年度卒業生フォローアップ	1月	年始休み
8月	お盆休み	2月	2019年度卒業生フォローアップ
9月	2020年度前期個別懇談	3月	2020年度後期個別懇談

## 2020年度 部門 じらふヘルパー事業計画書

作成:若松

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

\* 予算:2019年度とほぼ同等もしくは、収入減見込み

\* GHとヘルパーの兼務は解消される為、その分の収入はなし。

\* 男性職員1名:育成のため再度他職員とのサービス同行機会の設定。

毎月2-3回は実施予定の為、その分の収入はなし。

## 【支出項目特記事項】

\*災害時(防災)関連備品:モバイルバッテリー・乾電池式充電器等

- ・コーディネートを兼務していた主任が2020年2月より産休。2020年度の復帰時期未定。コーディネーター・主任業務を副主任(女性職員)へと引継ぐ。その為、女性職員1名はほぼ稼働できない。
- ・男性職員1名、勤務形態変更の可能性あり。サービス稼働に影響が出る可能性あり。
- ・2019年度末で退職した登録ヘルパー数:7名ほど。  
登録ヘルパー確保は、すぐには難しい状況ではあるが、粘り強くすすめる。
- ・平日:空き時間に業務実施。効率的に業務を行い、時間外の削減に努める。  
休日:空きヘルパーがでないように、利用者へ声かけ。  
前年度同様キャンセル対応(再調整)も粘り強く進める。
- ・事務パート2名への業務分担を積極的に行ない、効率よく業務実施できるように努める。

## 2. 職員(育成・研修など)

- ・すみすみ研修(支援の視点・制度・手法など)参加し、日々の実践を実施。
- ・行動援護従事者養成研修:対象となる登録ヘルパーにすすめる。
- ・職員による登録ヘルパーへの勉強会実施。(ヘルパー通信の活用)  
(虐待・感染症・人権・防災災害・支援の視点・車イス操作方法・ABAなど)
- ・ガイドヘルパー研究会(知的)の運営、定期的な集まり、情報共有などを他事業所を巻き込んですすめる。
- ・他機関、登録ヘルパーなどとケース会議を実施し情報共有する機会を設ける。
- ・住吉区こども部会に所属し、地域の課題等に取り組む一員として参加。
- ・PECS(H)の継続実施。PECSに取り組める機会には積極的に参加。
- ・ヘルパーMTの時間に部門内研修の機会を設け各職員のスキルアップを目指す。

## 3. 事業内容(おもな企画)

- ・担当者会議への積極的な参加、情報共有を行ない、日々の支援につなげる。

### 年間事業計画(予定)

月	内容	会議	研修など
4月～ 3月	日々のサービス	ヘルパーMT 支援計画会議	ヘルパー勉強会(毎月2回) すみすみ研修(適宜)

## 1. 収支（予算）

### 【予算収入と根拠】

だいくかのん：23,600,000円

大領であい：34,400,000円

だいくかのんは2019年度の基準で予算立てしております。

- ①大領であいかなでの夜間支援体制加算が来年度も3：1のままで2：1にはならず、収益は横ばいと予想される。まただいくかのんでは今年度区分が下がったメンバーが2名おり、全体的に収益が減っている状況である。今年度は区分を下げずに維持していきたい。
- ②メンバーの入院期間があり、退所後から新規の方が入居された時期の間もあった為、収入が減っている。今年度はその分の収入が増える見込みです。以外で、GH職員がヘルパーとして身体介護や移動支援に入っていた時期があり、その間の減算分が、来年度は無いため、多少の収入アップとなる見込みですが、数名のメンバーさんの区分が下がっているため、前年度の予算とあまり変わらないと予測されます。
- ③夜勤者（パート）不在時に職員が当直になると減算となる。今年度は、だいく⇒19回。ひびき⇒29回。かなで5回。計53回職員が当直したこととなり、約10万円程減算されている。できるだけ当直回数を減らしていきけるように、夜勤者の確保に重点を置いていきたい。

## 2. 職員（育成・研修など）

常勤職員については、引き続き個々の業務レベルの引き上げを目標とします。得意不得意がありますが、個人で解決せず、チームで一緒に考え、お互いを認め合うチーム作りをしていきます。お互いが成長できる関係性を築いていきます。支援については、引き続き構造化に取り組みます。出来るところから一つずつ行っていきます。

研修に関しては、すみすみ研修や外部の研修など積極的に参加できる環境を作っていきます。

支援員、夜勤パートの確保が恒常的な課題です。特に(男性)夜勤については確保が困難になってきています。学生の夜勤パートが大半を占めていますが、まだまだ世相や給与面等様々な要因があるかと思えます。夜勤という業務形態が以前よりも敬遠されているように感じます。その為、従来の募集方法に重ねて、他事業所などで行っているポスティングや、直接大学などへの募集チラシの配布、地域の方への発信を検討していきます。

## 3. 事業内容（おもな企画）

だいくかのん一泊旅行、大領であい一泊旅行は引き続き実施したく思います。

昨年は、だいくかのんの旅行を実施せずに、お金を貯めて遠出を予定していましたが、毎年行きたいとの声がメンバーから上がり、毎年行く形となりました。

#### 年間事業計画（予定）

月	内容	9月	大領日一泊旅行(未定)
4月	家族会	11月	だいくかのん一泊旅行(未定)
5月	GW企画	12月	クリスマス会
6月	だいくかのん日帰り企画	1月	新年会
8月	お盆企画	未定	大領日帰り旅行

※コロナウイルスの影響で、企画が変更となる可能性があります

### 2020年度 部門 大領であい障がい短期入所 事業計画書

作成:今村

#### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

4,500,000円

2019年度を基準に予算立てしております。昨年度と比べると、利用人数が40名ほど減っています。原因としては、各部署の職員が現場優先になり、夜勤に入れられない現状が多かった為です。そのためにも夜勤パートの新規雇用が永続的な課題です

### 2020年度 部門 こころの相談ネットふうが 事業計画書

作成:松岡

#### 1. 収支（予算）【予算収入と根拠】

地域活動支援センター委託費より：約1880万円

計画相談報酬予想：約1000万円

【支出項目特記事項】対外的な業務が多く、旅費交通費や研修費などは割合高めか。

#### 2. 職員（育成・研修など）

職員配置：地域活動支援センター 5人・計画相談専任 1人

研修：高齢部門との合同スキルアップ研修、法人内の他職種連携の支援の質向上委員会の事務局運営継続。精神保健医療福祉全般のテーマなどの研鑽。

育成：OJT と法人内外研修などでのスキルアップを図る。部内では人権感覚醸成のための人権研修を継続し、他部署への講師派遣を担い、法人内で拡げていきたい。

### 3. 事業内容（おもな企画）

#### 【地域活動支援センター】

「役割と参加、出会いの橋渡し」「居場所」を意識したサロン活動の展開を検討。  
具体的取組として、週1回職員とランチ座談会を定期開催し、新規登録者の定着化を目指す。

#### 【計画相談】

個別課題から普遍課題の抽出。計画相談の申請などのフロー図を活かしたチェックシート作成し、利用者・家族にわかりやすい書類など管理を行う。（利用者アンケートより要望抽出）

#### 【福祉教育・住民交流】

事務局機能継続。しょうがいのある方や高齢者、そして家族が、安心して暮らせる地域であるために、法人内外との協働で啓発、交流を進めていく。

#### 【ボランティア】事務局機能継続。詳細は委員会にて対応。

#### 【地域移行など】

地域移行は積極的に受け入れ。同時に地域内の受け皿を増やすために他事業所にもアプローチしていく。

#### 【防災取り組み】

事務局機能を継続。委員会を中心として法人内防災対策は継続。対外的には「災害対応と日常業務を切り離さない」為に啓発普及講演会などは継続して積極的に行っていく。

#### 年間事業計画（予定）

月	内容		
春・秋	外食企画	夏	交流会
12月	クリスマス会・大掃除	随時	各プログラム・外出など
3ヶ月毎	相談員向け研修	3月	ふらっと楽しむすみよし

## 2020年度 部門 コロたま倶楽部 事業計画書

作成:高橋ちかし

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】1045万円（基本委託料985万円、家賃補助60万円）  
地域活動支援センター（A型）運営事業の委託金は、昨年度の利用実績（毎月の利用者数の平均数）に応じて、その金額が決定されます。次年度の委託金は、今年度4月～1月までの利用実績に応じる額となりますが、その利用者平均が11名/月で確定したため、上記の委託金額1045万円となります。今後も稼働率の向上を図って参りますが、大きく好転することは期待できにくく、訓練等

給付費（就 B）でのサービス提供等を検討したく思います（今年度実績と同じ 11 名／月であれば、給付費は、約 1400 万円）。ただし、就 B の設置基準に照らして、今の借家での運営は困難と思われまじ、転居の可否・是非や利用者への影響など多角的に検討し、中・長期的な事業運営計画を立案したく思っています。

## 2. 職員（育成・研修など）

休職後の復職職員を受け入れる可能性があり、本人の特性に応じた業務分掌や育成等を図っていきます。

また、人権研修や、防火防災研修、衛生研修等を必須研修として、地域に開かれた施設運営にしていくために資する研修受講等を以て、職員の育成をしていきます。

## 3. 事業内容（おもな企画）

①生産活動としての喫茶店運営を中心に、利用者と地域住民・お客さんの交流を通じた相互のエンパワメントを図ります。そのため、各シーズンやイベントに準えた住民参加型オープン企画を実施する予定です（隔月実施：バレンタインデーの「手作りチョコ」企画など）。

②利用者の外出企画へのニーズが高いので、年 3 回（従前は年 2 回）の外出企画を試みます。

# 2020 年度 部門 オガリ作業所（生活介護） 事業計画書

作成：大藪・重野

## 1. 収支（予算）

### 【予算収入と根拠】

算出根拠として平均利用者 24 人、利用者年間 262 日開所（月～金と年末年始以外の月・水・金の祝日開所）を予定。各支援区分の基本報酬と地域単価（2 級地 1 単位 10.98 円）で計算を行う。そこに各種加算（送迎加算、人員配置加算、専門職加算、食事提供加算、重度障がい者支援加算）を計上している。なお利用者の所用、体調などの欠席も考慮して 9.2 割の通所として計上している。欠席加算は年間 200 日前後で 200000 円を計上。この合計として上記の 8423,000 円（基本報酬＋送迎加算＋人員配置加算＋専門職加算＋食事提供加算＋重度障がい者支援加算＋欠席対応加算）を上げている。

### 【支出項目特記事項】

手すり付き椅子 10 脚（60,000 円）・パーテーション（300,000 円）  
トイレ扉（工事費込み 800,000 円）  
車両メンテナンス（2019 年度より参照、総セン生活介護と按分 500,000 円）  
設備メンテナンス（水回り・換気扇・電気関係・パソコン等の O A 関係 200,000



円)・電圧変換機 交換機

円計 1860,000 円 + 電圧変換機交換費 = 円

## 2. 職員（育成・研修など）

●育成に関してはパートも含めた合同の勉強会を祝日で開催予定。毎回テーマを決定し、講師は職員のローテーションにて持ち回りで行う。またパート評価と面談を実施し、現場業務における大切な事項を書面と口頭にて共有しながら進めていきたいと考えている。活動の幅を広げる為に他機関の施設見学も実施したい。また、社会福祉士及び介護福祉士の実習生や福祉共育関連の学生、各種ボランティア等の受け入れも積極的に行っていくことで、職員の伝える力を育んでいきたいと考える。

●研修→・すみすみ研修 ・防災研修 ・施設見学 ・強度行動障がい研修 ・アイサポート研・四恩合同研修 ・障施協研修

## 3. 事業内容（おもな企画）

・福祉共育交流会(6月～12月) ・西成高校インターンシップ(7月)  
・外食企画 ・外出事業 ・バーベキュー ・新年会

### 年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4	花見・歓送迎会	5	GW企画、こどもの日
6	外出	7	BBQ
8	お盆企画	9	外出・懇談会
10	外出・福祉共育	11	外出・福祉共育
12	クリスマス会	1	正月企画(新年会)
2	懇談会・外出	3	懇談会・外出

## 2020年度 部門 オガリ作業所(就労) 事業計画書

作成:森

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入は 3,135 万円。年間利用者延べ人数 4047 人×7696 円（597 単位+15 単位福祉専門職員配置等加算+89 単位目標工賃達成指導員加算）

【支出項目特記事項】

パン工房扉の修繕の必要がある

### 2. 職員（育成・研修など）

すみすみ研修にて、基本的支援のあり方、方法を学ぶ。パン製造については2020年度より成分表示が義務化されることに対応する。2020年度はHACCP(ハップ)義務化への導入を進めていく。

### 3. 事業内容（おもな企画）

イベントでの販売売り上げが大きいため、製パン班では今年度もイベント販売に参加していく。製パン班・清掃班では外出企画を実施する。

行事企画としては、製パン・清掃・介護・厨房・縫製班の合同企画をしたい。

#### 年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	清掃班 WAX がけ	10月	清掃班 WAX 製パン班イベント(建國小、住吉区民まつり、パンプかぼちゃまつり) 支援学校実習生受け入れ
5月	清掃班 WAX がけ 製パン班イベント(帝塚山音楽祭、他)	11月	清掃班 WAX 製パン班イベント
6月	支援学校実習生受け入れ (清掃班外出、2019年冬分)	12月	清掃班 WAX がけ クリスマス企画
7月	清掃班 WAX がけ 製パン班イベント(粉浜商店街夜店祭)	1月	清掃班 WAX がけ
8月	清掃班 WAX がけ 製パン班イベント(帝塚山芋忠、他)	2月	製パン班イベント(住吉区文化フェスティバル) 個別支援計画モニタリング
9月	清掃班 WAX がけ 個別支援計画モニタリング	3月	製パン班イベント(ふらっと楽しむすみよし)

## 2020年度 部門 総セン通所生活介護 事業計画書

作成:大藪・重野

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

算出根拠として平均利用者25人、利用者年間254日開所（月～金と年末年始以外の月・水・金の祝日開所）を予定。各支援区分の基本報酬と地域単価（2級地 1単位10.98円）で計算を行う。そこに各種加算（送迎加算、人員配置加算、専門職加算、食事提供加算、重度障がい者支援加算）を計上している。2020年度は職員2名による重度障がい者支援加算の取得により10名まで個人加算を取得できるので大幅な増収が見込まれる。なお利用者の所用、体調などの欠席も考慮して9割の通所として計上している。欠席加算は年間200日前後で200000円を計上。この合計として上記の **85530000円（基本報酬+送迎加算+人員配置加算+専門職加算+食事提供加算+重度障がい者支援加算+欠席対応加算）** を上げている。

#### 【支出項目特記事項】

- ①チェア 10脚 60000円 活動机 20000円 メンバーロッカー20000円
- ②さくら班パーティーション補修 300000円（通常板10枚、ドア板3枚、アク

リル板1枚)

③さくら班通路絨毯張替え 100000 円

④車両メンテナンス(31年度より参照、オガリ生活介護と按分) 500000 円

⑤設備メンテナンス 200000 円(水回り・排管・電気関係・パソコン等のOA関係)

## 2. 職員(育成・研修など)

●育成に関してはパートも含めた合同の勉強会を祝日で開催予定。毎回テーマを決定し、講師は職員のローテーションにて持ち回りで行う。またパート評価と面談を実施し、現場業務における大切な事項を書面と口頭にて共有しながら進めていきたいと考えている。活動の幅を広げる為に他機関の施設見学も実施したい。また、社会福祉士及び介護福祉士の実習生や福祉共育関連の学生、各種ボランティア等の受け入れも積極的に行っていくことで、職員の伝える力を育んでいきたいと考える。

●研修→・すみすみ研修 ・防災研修 ・施設見学 ・強度行動障がい研修 ・  
アイサポート研・四恩合同研修・障施協研修

## 3. 事業内容(おもな企画)

・福祉共育交流会(6月～12月) ・西成高校インターンシップ(7月)  
・外食企画 ・外出事業 ・バーベキュー ・新年会

### 年間事業計画(予定)

月	内容	月	内容
4	花見・歓送迎会	5	GW企画、こどもの日
6	外出	7	BBQ
8	お盆企画	9	外出・懇談会
10	外出・福祉共育	11	外出・福祉共育
12	クリスマス会	1	正月企画(新年会)
2	懇談会・外出	3	懇談会・外出

## 2020年度 部門 総セン障がい通所就労B型 事業計画書

作成:阿部

### 1. 収支(予算)

#### 【予算収入と根拠】

・26,473,000円 : 根拠(班異動及び長期欠席による利用実績数減)

#### 【支出項目特記事項】

・総セン北側入り口のウッドデッキの塗り替え補修…約50,000円  
(2014年に実施した額とほぼ同様です) ※経年劣化が進み補修期限を過ぎて  
います。

## 2. 職員（育成・研修など）

- ・大人の〇〇塾継続開催
- ・他事業所、他機関、他企業との連携強化及びネットワーク拡大

## 3. 事業内容（おもな企画）

- ・プリント事業の拡大（受注数増加）

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4	イベント出店	10	イベント出店
5	イベント出店	11	イベント出店
6	イベント出店	12	イベント出店・外食研修・大掃除
7	イベント出店	1	イベント出店
8	イベント出店・外食研修	2	イベント出店
9	イベント出店	3	イベント出店

## 2020年度 部門 であい生活介護 事業計画書

作成：慶元

## 1. 収支（予算）

### 【予算収入と根拠】

2019年度実績は70,000,000円の見込みです。

2020年度予算も70,000,000円を維持、若干の増収を見込みます。

昨年度11月より重度障害者支援加算を取得。3ヶ月間のみの初期加算があり、4,000,000円の増収がありましたが、今年度はなくなります。しかしながら重度障害者支援加算Iは継続でき、2,400,000円の増収、新規利用者1名（区分4と想定）で2,000,000円の増収を見込みます。

### 【支出項目特記事項】

送迎車一台車検予定です。

## 2. 職員（育成・研修など）

新任職員が1年の業務を経験し、職員体制も安定しつつあります。時に責任のある業務を任せ、振り返りを行なっていく、若手職員のさらなるレベルアップを図ることで、職務年数に開きによる業務水準の課題を改善していきます。非常勤体制も現在は安定していますが、現場での情報共有や、勉強会を今年度も実施し、非常勤も含めたチーム作りを今年度も目指していきます。研修については、すみすみ等の法人研修に参加できるよう体制を作っていきます。現状の支援を振り返り、今求められている支援について深め、実施していくことができるよう努めていきます。

### 3. 事業内容（おもな企画）

#### 年間事業計画（予定）

月	内容	11月	秋の外出
4月5月	春の外出	12月	喫茶(もしくは外食)体験
6月	喫茶(もしくは外食)体験	1月	初詣
8月	るーぶアートギャラリー 3日～9日	2月	後期個別懇談会
9月	前期個別懇談会	3月	家族会・花見
10月	であい祭		

## 2020年度 部門 大領 COCORO 生活介護 事業計画書

作成:中野直樹

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

- 予算:7500万円
- プラス根拠:ひなた1名増。  
マイナス根拠:つなぐ1名減。リハビリ加算の取り下げ。  
30名定員に上げるため、報酬単価が1割減となる。

#### 【支出項目特記事項】

- 館内全体が行き届くネット環境への設定工事:11万円
- つなぐ倉庫の個室のリフォーム工事

### 2. 職員（育成・研修など）

- 異動での男性職員1名、新採用で女性職員1名への業務引継ぎ、OJT研修の参加。
- 中野がひなた、つなぐを横断的に見ていく。さらに、吉田にも副主任の立場として同様に横断してもらいが、新人職員(女性)のフォローも兼ねていく。
- ひなたは田中、つなぐは大西を中心に現場を取り仕切っていく。
- 高瀬はメンバーへのチームアプローチにつながるように、パート職員を中心とした各班会議のコーディネイト役を担ってもらう。
- 多種多様な障がいへの対応や家族支援、自発的なコミュニケーションの確立を目指し、他部署、他事業所とのケース会議や研修を積極的に参加し、連携を意識した職員の育成を目指す。
- 難病や医療的ケア、重度化する障がいに対し、安全安心をキーワードに専門職からの勉強会を実施し、医療面、身体面での知識向上を目指す。

### 3. 事業内容（おもな企画）

- 外出:アンケートで遠出の希望を実現するために、年間通してメンバーを振り分けることで、希望に沿った外出が実現できるようにしていく。
- 祝日事業:ひなたは引き続き、月・水・金中心に開所。つなぐはGW、7月&8月&9月の連休、年末年始などの長期休暇を中心に開所。
- COCORO だより:日々のメンバーの様子のお知らせ。
- 家族懇親会:ご家族同士とスタッフの交流会。

#### 年間事業計画（予定）

月	内容	10月	後半外出、前期懇談
4月	歓迎会(合同)、祝日事業(ひなた)	11月	後半外出、祝日事業(ひなた)
5月	祝日事業	12月	クリスマス会、家族懇親会
6月	前半外出		祝日事業(合同)
7月	前半外出、祝日事業(合同)	1月	祝日事業(ひなた)
8月	祝日事業(合同)	2月	後期懇談
9月	祝日事業(合同)	3月	年度末振り返り(合同)

## 2020年度 部門 つみき(生活介護・生活訓練) 事業計画書

作成:南

### 1. 収支（予算）

生活介護 10名、生活訓練3名と契約

※内、生活介護1名は利用予測が難しいため、収入には含まず。

2020年度の稼働日:245日と想定

※生活介護については職員が受講できれば重度障害者支援加算の対象者:4名に加算がつくため、その件を織り込んで生活介護 2800万円とする

※生活訓練 452万円とする

#### 【支出項目特記事項】

購入希望物品(もしくは中古品、修理、法人内の在庫でも可)

○パソコン(メンバーさん用)

○パソコン(職員用)

職員の増加を予定しているため、事務作業の出来るパソコンを希望。新品でなく、法人内で在庫でも可。

#### 事務作業での要望

○つみき内の職員用パソコンで、共有フォルダのようなものを設置したい。  
法人内のオールフリー等とは別建ての社内ネットワークのこと。つみき内のネットワーク環境が把握できていないため、必要であればネットワーク環境を整えたい。

## 2. 職員（育成・研修など）

PECSレベル1研修：1名 39,000円 \*予算可能であれば  
強度行動障がい者支援者養成研修(基礎・実践)：1名 10,400円  
コンサルテーション年3回 42,000円(+交通費) \*質の向上のため

## 3. 事業内容（おもな企画）

### 【1、2年生】

調理、レクリエーション、おんがく、ダンス、ヨガストレッチ、せいかつ、身  
だしなみ講座、作業、暮らし、大人のマナー、コミュニケーション、

### 【3年生】

おしゃれセミナー、ボランティア、企業研究、仕事体験、ティータイム、グル  
ープワーク、スポーツ、サークル活動、実習

## 年間事業計画（予定）

月	内容		
4	入学式		
7	オープンキャンパス		
9	キャンプ・旅行		
11	懇親会		
12	クリスマス会		
2	学びの場		
3	卒業式		

## 2020年度 部門 じらふ・泉北(放デイ) 事業計画書

作成:森

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

収入：16,823(千円)

根拠：今年度は常勤スタッフの人数減により、各種加算がとれなくなるため、  
利用人数は今年度と大きく変わらない予想の中(利用者人数は現状  
+120%増を狙う)で試算。

利用状況によっては、児童発達支援事業との多機能事業所も検討中。

#### 【支出項目特記事項】

- ・送迎車両の車検・整備
- ・移転に伴う費用、備品購入や引っ越し代（2020年4月現在地よりも賃貸料  
は下がる見込み）
- ・移転に伴う送迎車の確保(場合によっては)

## 2. 職員（育成・研修など）

部門内研修…引き続き、パート対象の月1度程度の部門内研修（内容：事故防止、感染症対策、人権擁護は常勤スタッフも必須）を実施。加えてはびな（生活介護）ナースによる医療的な研修を継続予定。

外部研修…常勤、パート関係なく「すみすみ研修」をはじめ堺市主催の研修や放課後連絡会主催

の研修や相談会などへの参加を勧める。

## 3. 事業内容（おもな企画）

- ・前年度、利用者拡大を目指し小学校低学年からの受け入れもスタートした。今年度中には児童発達支援との多機能化を早期に検討していく。なお児童発達支援事業については現在時間制の個別療育を検討している。
- ・事業所移転を6月に計画していること（原山台→高倉台）に伴い、利用者を取りまく環境が大きくかわる。現在の利用者満足度を下げないような企画の検討・実施が求められる。また、これまで地域イベントに参加してきたが、今後の継続は難しい。移転先近くの「みんなのマーケットるびなす」との協同など検討していきたい。
- ・おもな年間企画としては以下のとおり。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
毎月	おやつづくり・創作活動	10月	たかくらハロウィンまつり参加
4月	たかくらイースターまつり参加	12月	じらふクリスマス・年越しそば作り
5月	GW企画…外出、外食、クッキングなど	1月	初詣外出・書き初め
7～8月	夏休み企画 外食、プール、クッキングなど	3月	消防立会避難訓練 外食・卒業パーティー
9月	避難訓練		

## 2020年度 みんなのマーケットるびなす（就労継続支援） 事業計画書

作成：藤田

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 4月から定員10名に変更

収入：¥15600（千円）

4月から利用者2名利用開始予定。（支援学校卒）

現在の平均稼働が7～8名程度であることから 2020年度は平均9～10名程度見込み。



一日最大利用 13 名程度となる見込み。

2019 年度、週 5 利用 2 名 就労継続支援 A 型へステップアップされた方がおられるので大幅な増収は見込めず。

【支出項目特記事項】

2020 年内 エスティマ車検 2 台 10～15 万円×2 台

## 2. 職員（育成・研修など）

パート職員 2 名程度雇用見込み

基本的な研修のほか PECS や支援の有り方についてのパートさんも含めた研修の実施。若手職員への他部署間交流も取り入れた OJT の実施。

## 3. 事業内容（おもな企画）

2 ヶ月～3 ヶ月に 1 回程度 リフレッシュ企画開催の予定  
施設外就労について、南楽園（5 月～12 月）作業予定。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4 月	たかくらイースター		
7 月	たかくら夏祭り		
10 月	たかくらハロウィン		
11 月	BBQ 企画		

- ・毎月第一土曜日 みんなの食堂実施

## 2020 年度 部門 はぴな（生活介護） 事業計画書

作成：藤田

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 4 月から定員 10 名に変更

収入：¥33780（千円）

月 2815（千円）×12 ヶ月

4 月より新規登録 6 名が利用開始。2019 年度末にも 2 名程度新規契約を行う平均稼働が 10～11 名程度。 最大利用は 14 名程度の曜日もある見込み。

【支出項目特記事項】

開設準備 大道具系（230 万円程度）追加備品費（80 万）

一括購入せず 2020 年中を目処に追加備品購入予算をメンバーさんの様子をみながら購入予算として 80 万円程度の見込み。（外溝回りの対策や、追加備品の購入）（例：追加パーテーション・机・椅子・食器・運動器具等）

## 2. 職員（育成・研修など）

パートスタッフ2名程度を目処に雇用予定

基本的な研修のほか、支援に関する研修を実施、受講予定。

## 3. 事業内容（おもな企画）

年間計画にて季節感を感じられるような行事を実施予定。

南楽園での施設外就労や、周辺清掃を通して地域とのつながりの基盤造りを行っていく予定。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4	開所式		
8	みきた祭り		